

銀行名	秋田銀行
タイトル	業務提携アドバイザーを活用した創業企業の海外進出支援
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ K氏は海外勤務が長く、シンガポールに出張する機会も多かった。現地では、日本米、特にコシヒカリ・あきたこまちの評判が高いが、保管状態が悪く精米後高温下で長期間貯蔵されることで、品質が劣化している場合があることを発見した。</li> <li>・ そこで、秋田産あきたこまちを状態の良いままシンガポールの家庭の食卓に届けることができればビジネスになると考え、起業を決意した（あきたこまちの玄米を低温で輸送、現地で精米する。）</li> <li>・ K氏は出身地の秋田市で起業しようと当行に相談した。当行では米の輸出が業務内容と聞いて、輸出に詳しい当行業務提携アドバイザーに案件をつないだ。</li> <li>・ 当行では創業の制度融資を活用し金融面での支援をした。</li> <li>・ 業務提携アドバイザーは、担当店と連携しながら、事業計画のブラッシュアップならびに具体的な米の輸出方法と販路確保についてアドバイスした。</li> </ul> <p><b>【お取引先にとっての効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資金面では、業務提携アドバイザーの当該事業の「目利き」によりスムーズな融資支援を受けることができた。</li> <li>・ K氏は海外勤務経験があり、シンガポールの事情や輸出業務には詳しいものの、事業計画の策定には不慣れであったが、経験豊富な業務提携アドバイザーと協議しながら、米の調達、輸出手続、現地の倉庫確保、販路開拓まで事業構想を具体的な事業計画に落とし込む作業を進めることができた。</li> <li>・ シンガポールに現地法人を立上げ、営業・販売をすることにしたが、この場合K氏は労働ビザの取得が必要になる。最近ビザの取得は困難になっているが、業務提携アドバイザーが貿易促進協会の専門アドバイザーも兼務していることから、同協会のレターヘッドの使用許可を得て推薦状を発行したことで、労働ビザを遅滞なく取得できた。</li> <li>・ 当行が業務提携している大手企業D社のシンガポール駐在員を販売先として紹介したことで、現地の日本人サラリーマンに口コミで情報が広まり、短期間で1,300世帯の販路を開拓することができた。</li> </ul>

銀行名	秋田銀行
タイトル	業務提携アドバイザーによる女性起業家の創業支援
取組み内容	<p>【動機（経緯）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性で起業を目指すA氏は、先輩女性起業家から当行業務提携アドバイザーの評判を聞いて、自身の事業計画策定にあたって助言を得たいと考えた。</li> <li>・ 先輩女性起業家の紹介で、当行業務提携アドバイザーと面談、事業計画策定・補助金申請についての助言等を受けるようになった。</li> <li>・ 事業内容は、天然植物由来の香料をブレンドしたアロマオイルの製造販売であったが、商品の特徴や販売ターゲットが明確ではなかった。</li> <li>・ 両者協議のうえ、顧客の好みに応じてオリジナルのブレンドをすることにより、脳の老化予防や体と心の健康に役立つアロマオイルとして、高齢者をターゲットに売り出すことにした。</li> <li>・ 創業補助金の申請と創業融資は当行を利用し資金調達に目処をつけた。</li> </ul> <p>【お取引先にとっての効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当初単独で申請した創業補助金は未採択となったが、業務提携アドバイザーの助言を受けて、事業内容を見直し、商品コンセプトと販売ターゲットを明確にしたことが功を奏し、再度挑戦した補助金申請が採択となり、融資支援もスムーズに受けることができた。</li> <li>・ 販路に関しても、業務提携アドバイザーから冠婚葬祭事業者向けや介護事業者向けなど具体的な販路紹介を受けることができた。</li> <li>・ 現在、販路紹介した冠婚葬祭事業者がインテリア用品としての商品化の可能性を感じ、インテリア会社にこの情報を提供、インテリア会社から「照明と香りの融合」をコンセプトにした新商品の共同開発の提案を受けている。</li> </ul>

銀行名	秋田銀行
タイトル	広域的な金融機関連携による海外販路開拓支援の取組み
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年 3 月、秋田銀行、青森銀行、岩手銀行で組織する共同ビジネスネット「Netbix」による初の海外での事業として、3 行の主催により「北東北食品ビジネス商談会 in 香港」を開催した。</li> <li>この商談会では、3 行の業務提携先である香港貿易発展局との連携により、取引先の香港市場への販路開拓支援を目指した。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3 行の取引先 16 社が参加したほか、香港貿易発展局が、取引先の商品情報等をもとにマッチングの可能性がある香港企業 38 社を招聘した。</li> <li>取引先と香港企業との個別商談件数は 136 件となった。</li> <li>商談会終了後、香港企業との交流レセプションを開催し、取引先出品食品を利用した料理コーナー、観光 PR コーナーを設置した。</li> <li>商談会開催前後の日程で香港物流施設、食品販売店舗のほか、中国本土の物流窓口都市である深センの日系大手スーパーを視察し、各視察先で食品流通事情に関するレクチャーを行った。</li> </ul> <p><b>【取組み効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>秋田、青森、岩手各県の特色ある商品の出品により、単県での開催よりも香港企業側の日本の地方食材への関心が高まり、バイヤー数、商談件数とも予想を上回ることができた。</li> <li>商談会および交流レセプションの実施により、3 県の「食」、「観光」を PR。今後も 3 行の連携により、「北東北」という広域的な地方の魅力を発信し、取引先の海外展開支援をはかっていくとともに、観光客誘致等による地域経済活性化に向けた取組みを行っていく予定である。</li> </ul>

銀行名	秋田銀行
タイトル	「県北キャリア甲子園」でマッチング商談会を開催
取組み内容	<p><b>【経緯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県北地域の小・中・高等学校が日頃行っている地域の特性を活かした各種活動に対して、地域や企業、行政が一体となって応援するために「県北キャリア甲子園」(秋田県主催)が開催されることになった。</li> <li>・ 開催にあたり、大館市教育委員会および実施主体である秋田県北NPO支援センターから当行に対して、各校の活動に協力してくれそうな企業の選定および擬似商談のセッティング依頼があった。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベント当日は、県北地域の小・中・高等学校 11校 62名の生徒らが参加し、日頃行っている地域活性化プロジェクトについてプレゼンテーションを行ったほか、プロジェクトの実現について地元企業と擬似商談を実施した。</li> <li>・ 当行は協力機関として、県北の小・中・高等学校と地元企業との商談をコーディネートするなど、マッチング面でのサポートを実施し、キャリア教育の実現に向けた協力を行った。</li> <li>・ 具体的な実施事項は次のとおり。 お取引先の来場誘致、商談依頼 商談セッティング(11の小・中・高等学校と県内企業 21社で 33の商談を設定) 商談タイムスケジュールの作成 当日の来場者、商談企業の対応</li> </ul> <p><b>【取組み効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参加した生徒らはこれまで接する機会がなかった食品加工、包装資材販売、商品開発を手がける事業者等と「商談」することができたほか、農産物の栽培など日頃取り組んでいる活動について具体的なアドバイスをもらうことができた。</li> <li>・ 商談企業からも、「自社のCSRの一環として参加したが、生徒らの業界の常識にとらわれない斬新なアイデアを聞くことができ、今後の事業を行ううえで、非常に有益であった。」といった感想をもらうことができた。</li> <li>・ 当行はこれまで「エコノミクス甲子園」の開催や当行職員が講師となって秋田県内の小・中学校を訪問し、「お金のはたらき」などについて授業を行うなど、積極的に金融経済教育を実施してきたが、本件は、当行がこれまで培ってきた商談会・ビジネスマッチングのノウハウをキャリア教育の一環として活用してCSRを行った事例である。</li> </ul>

# あきた協働フェスタ

県北の食に関するキャリア教育実践校が大集合!!



2014  
1月25日 土 10:00  
15:00

ルネッサンスガーデンプラザ杉の子 3階「飛天の間」  
〒017-0043 秋田県大館市有浦 1-7-55

未来の活動大商談会

来て!見て!応援して!

県北キャリア甲子園

**内容** 「講演」(テーマ:食育)

全国農業協同組合連合会秋田県支部  
営農支援部営農支援課

参与 泉 牧子氏



「出場校のプレゼンと企業応援」

キャリア教育の取り組みについての  
プレゼンテーションに対する、参加  
企業の協力応援

「マッチング商談会」

出場校と応援企業との真剣勝負の場

**主催** 秋田県

**実施主体** 特定非営利活動法人 秋田県北NPO支援センター

**協力** 株式会社 秋田銀行

**後援** 秋田県教育委員会・能代市教育委員会・大館市教育委員会  
鹿角市教育委員会・大館商工会議所

**お問合せ** 秋田県北NPO支援センター 0186-49-8553

